

令和元年度地震・津波防災訓練 (内閣府・高知県高知市)

実施報告書 (概要版)

高知県高知市について

高知市は、高知県中央部に位置する県庁所在地で、北部は山地、南部は太平洋に面しており、自然環境に恵まれ、土佐藩の城下町として発展した、人口約32万8千人の都市です。

高知市では、南海トラフ地震が発生した場合、最大震度7の揺れにより多数の家屋倒壊や土砂災害が発生するとともに、地震発生の数分後から6～8m、場所によっては10mを超える大津波が押し寄せることが想定されています。

このため、津波から命を守る対策として、避難路・避難場所の確保、三重防護などのハード対策や市・地区別津波避難計画の整備・点検、津波避難訓練などのソフト対策を推進しています。

特に、防災関係機関が連携した総合防災訓練を毎年実施し、本年度は、災害・避難カード作成講習会のための内閣府ブースを設けるとともに、下知地区及びイオンモール高知において住民参加の津波避難訓練を実施しました。



出典：国土地理院

訓練概要

- 訓練想定：「10月27日（日）午前10時15分に南海トラフを震源とするM9.0の大地震が発生し、高知市では最大震度7を観測、大津波警報も発令された。」との想定で実施され、高知市は直ちに住民に対し津波からの避難を呼びかけました。
- 実施日時：令和元年10月27日（日）09:00～14:15
- 実施場所：鏡川緑地及び下知地区・イオンモール高知等
（下知地区・イオンモール高知は、住民参加の避難訓練を実施）
- 主催：高知市、内閣府
- 参加者数：約1,000名
- 参加機関：町内会・自主防災会、イオンモール高知など

訓練の評価

訓練は、内閣府の「地震・津波防災訓練」及び「高知市総合防災訓練」を連携して実施し、町内会・自主防災会などの市民及び防災関係機関等の職員の約1,000名（うち津波避難訓練に約200名）が参加して実施された。

訓練当日は天候にも恵まれ、訓練参加者は終始熱心かつ真剣な態度で訓練に取り組んでいた。

訓練終了後、各訓練会場で実施したアンケート調査の結果から、

- 日頃の訓練が大事であり、訓練を通じて多くのものを学ばせていただいた。
- 継続して訓練をしていくことが重要で、少しずつ防災についての意識や知識が向上していると思う。
- 災害時は自分達が地域のリーダーとなるが、その心構えや知識を学ぶことができて、勉強になった。などの評価の一方で、
- 年配の人が多いが、実際何かあった時には、要支援者への支援など、もっと若い人の力が必要だ。
- シミュレーションに基づく簡単なゲームなどを取り入れたらどうか。
- 自主防災組織だけではなく、一般の人への周知も必要であり、訓練にもっと多くの人が参加するような仕組みが必要だ。などの意見も出された。

高知市職員からは、

- 今年は若い世代の参加者が多かったが、自主防災会のメンバーが防災紙芝居や防災着ぐるみの活用等、新たなチャレンジをした結果だと思う。
- 今回は地域の自主防災会を中心に声をかけたが、開催場所のイオンモール高知に来る客やテナントの従業員などにも参加を促していくと、より実践に近い形になるのではないかと感じた。などの所見が出された。

今回の訓練や防災講習会（災害・避難カード作成講習会）を通じて、「自らの命を自分で守る重要性」と「日頃から、家族や地域で防災について考えることの大切さ」を学ぶことができ、大変有意義な訓練になった。

令和元年度地震・津波防災訓練（内閣府・高知県高知市）

訓練内容

10月16日 18:30～20:30 防災講習会（災害・避難カード作成講習会）

下知地区自主防災会の訓練最終打合せ会に接続して、役員等に対し「防災講習会」を実施し、カードの重要性・必要性、種類、作成要領等について説明した。

自主防災会役員等



内閣府挨拶



防災講習会



10月27日 09:00～10:30 シェイクアウト訓練及び津波避難訓練

下知地区及びイオンモール高知において、自らの命は自ら守るという「自助」の取組みに重点を置き、地域住民がその場で安全確保を行うシェイクアウト訓練を実施した。

また、各種津波避難の呼びかけに応じ、津波避難場所である下知コミュニティーセンター及びイオンモール高知への避難を実施し、自主防災会・町内会の役員やイオンモール高知の職員等が避難誘導・避難支援を実施した。

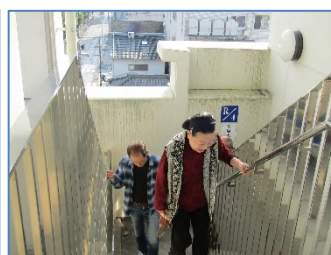
▼下知地区
シェイクアウト訓練



▼下知地区
津波避難訓練



▼下知地区
津波避難訓練



▼イオンモール高知
シェイクアウト訓練



▼イオンモール高知
津波避難訓練



▼イオンモール高知
津波避難訓練



10月27日 09:00～14:15 その他の訓練

「災害・避難カード作成講習会」をブースを設置して実施し、カードの作成体験を通じて防災を考えるきっかけとした。また、訓練の最後の閉会式で、内閣府挨拶及び市長講評等を実施した。

▼鷹匠公園
避難カード作成講習会



▼みどりの広場
閉会式、内閣府挨拶



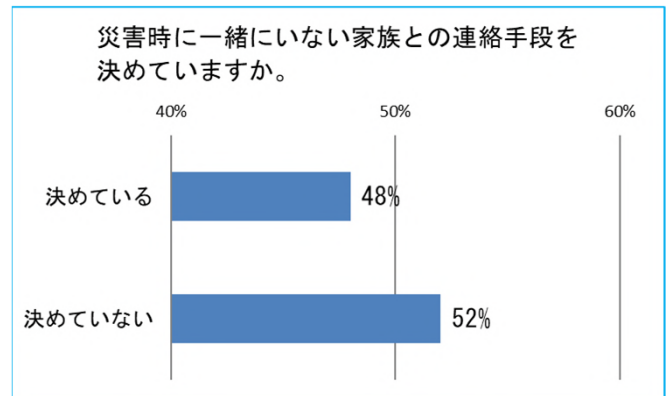
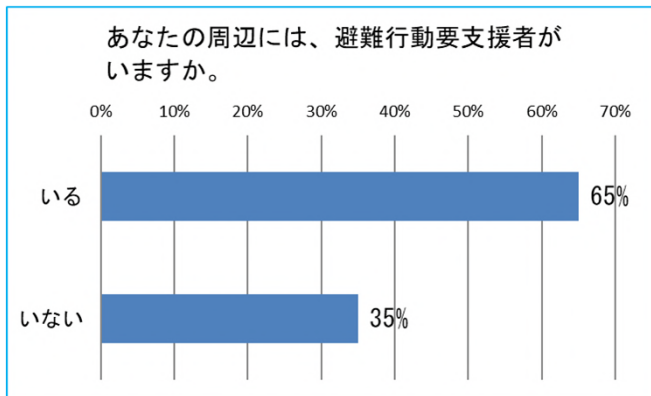
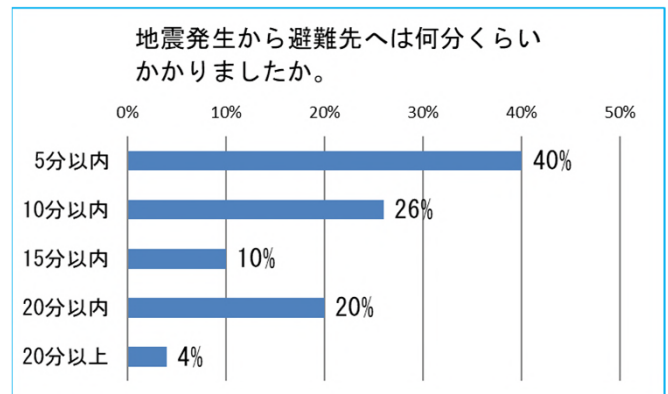
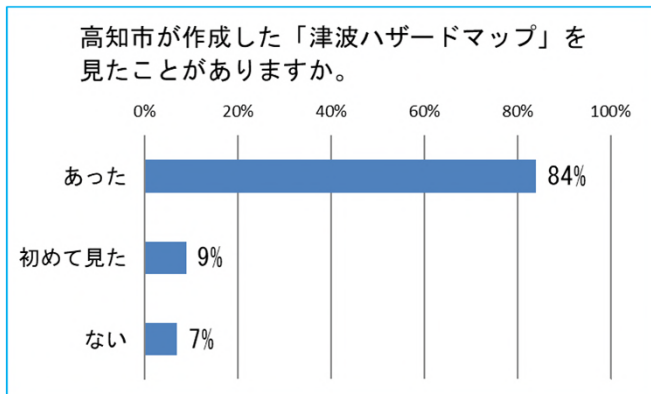
▼みどりの広場
閉会式、市長講評



令和元年度地震・津波防災訓練（内閣府・高知県高知市）

アンケート結果

住民の方々の防災意識や津波避難対策への取り組み状況等を把握するため、アンケート調査を実施した。（アンケート回収数：153人）



【自由回答欄】

（良好な点）

- 訓練で色々と事前に体験しておくことが大切なので、度々やって欲しいと思う。
- 前回に引き続いての参加であったが、楽しく訓練できたので、次回も是非参加したいと思う。
- 地震と津波のハザードマップを手に入れることができて良かった。
- 紙芝居の内容がとても良かったので、学校などのいろんな所で披露して欲しいと思う。
- 実際に津波からの避難訓練を体験してみて、避難の仕方が良く分かった。

（改善を要する点）

- 若い人や子供達がもっと参加できるようになればいいと思った。
- 避難する際、持出袋を持参してくる人が少ないと思った。
- 津波避難施設であるイオンモール高知周辺のハザードマップの説明があれば、もっと良かったと思う。
- シェイクアウト訓練の際、正しい姿勢等も見本で見せていただければ良かった。
- 階段で手摺を持つよう指示があったが、手摺を持っていると、余震が来た時の転倒のリスクが減るなど、理由を説明してもらえると更に良かった。